

図書館を飛び出し、青空の下で本を楽しもう

～マルシェの中の小さな図書館～



新庄市立図書館（山形県新庄市） <http://www.city.shinjo.yamagata.jp/1050.htm>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	新庄市小田島町4-21
電話番号	0233（22）2189
人口（図書館が所在する市町村）	約38,000人
職員数（うち有資格者数）	11人（8人）
蔵書数	135,322冊
登録者数	26,497人
年間貸出冊数（H24）	150,114冊

目的・趣旨

市民と協働したまちづくりへの参画を通して、今までとは違う角度からアプローチすることによって利用者の拡大を図る。
図書館がコミュニケーションの場として親しまれ、利活用されるよう、本と人をつなげる機会の提供を行う。

取組概要

毎月第3日曜日は、kitokitoマルシェ（手をかけ育てられた野菜、こだわって作られた食べ物、素敵で雑貨や小物が揃う市場）の日。市立図書館も、毎月テーマを掲げて参加している。

kitokitoマルシェについてはこちら⇒<http://kito-kito.tumblr.com/>

キーワードは、

- 待つだけの図書館から、積極的に情報を発信する図書館へ
- 幅広い世代から愛され、親しまれる図書館へ

市民活動との連携を図りながら、図書館の新しいサービスの在り方について職員で知恵を出し合い、いろいろな活動に挑戦している。



<移動図書館>
ラッピングカー「かやの木号」

特徴

うつりゆく四季を感じながら、思い思いに読書を楽しめる場がここにある…



6月のテーマは「雨・あじさい 本とわたしのすてきな時間を kitokito で」



7月のテーマは「木もれ日の下 家族でのんびりお話をたのしむ」
マルシェに来場した多くの親子連れで会場は超満員



8月のテーマは「ココロを育む親子読書夏の思い出を kitokito で」



手作りマルシェだけに、ハンドメイドの本は大人気

取組の成果と今後について

マルシェに来たついでに立ち寄って本を借りていく人もおり、利用者の拡大につながっている。本は図書館に返却するきまりのため、来館者数も増加。普段、図書館を利用しない人に対しても図書館の情報を発信できる場となっている。また、図書館の静かな雰囲気とはひと味違い、青空の下で読書ができる爽快感、好きなドリンクを片手に語り合いながら読書ができる開放的な雰囲気が来場者にも好評である。今後は、大人へのアプローチの仕方をより充実させ、新たな本の楽しみ方を提案していきたい。